

第20号様式別表2の2記載の手引

1 この明細書の用途等

この明細書は、当該事業年度又は連結事業年度開始の日前10年以内に開始した連結事業年度において生じた控除対象個別帰属税額について、法第321条の8第9項の規定の適用を受けようとする場合に記載し、第20号様式の申告書に添付してください。

2 各欄の記載のしかた

欄	記 載 の し か た	留 意 事 項
1 「控除対象個別帰属税額①」	当該事業年度又は連結事業年度の開始の日前10年以内に開始した連結事業年度において生じた控除対象個別帰属税額について、古い連結事業年度又は事業年度の分から順次記載します。	
2 「控除未済額③」	①の欄の金額から②の欄の金額を差し引いた金額（前期分のこの明細書の「翌期繰越額」）を古い連結事業年度又は事業年度の分から順次記載します。	
3 「当期控除額④」	③の欄の金額と第20号様式別表1の③の欄の金額のうちいずれか低い金額を記載します。この場合において、第20号様式別表1の①の欄の上段の（ ）内に記載された金額があるときは、第20号様式別表1の③の欄の金額は、第20号様式別表1の①の欄の上段の（ ）内に記載された金額を控除したものと計算します。	